

「資源化」に求められる視点と札幌市及び他都市の取組について

| 区分 | 視点 | これまでの札幌市の取組 | 課題 | 他都市の取組の例 |
|-----------------------|---|--|--|---|
| 家庭系 | 取組の推進 | 【奨励金の交付】 [p1] 集団資源回収実施団体として登録をしている町内会や PTA などの地域住民団体に対し、資源の回収量に応じて奨励金を交付 | ・資源回収量の減少（23 年度をピークに減少） ・未利用者への啓発 | 【北九州市】 雑がみ回収グランプリ |
| | | 【ごみ減量キャンペーン】 [p3] 紙類・容器包装プラスチックの適正排出に向けた普及啓発等を行う、「ごみ減量キャンペーン」の実施 | ・燃やせるごみに含まれる「紙類」「容器プラ」はそれぞれ約 17,000 トン ・「容器プラ」と「雑がみ」の分別協力率は 60%前後 | 【仙台市】 雑がみ回収袋及び雑がみ回収推進ロゴマーク作成 【横浜市】 住民説明会等による分別の徹底 【神戸市】 コンビニでの啓発チラシの配布 |
| | | 【札幌市ごみ分別アプリ】 [p5] 無料アプリ「札幌市ごみ分別アプリ」を配信 | | |
| | 【若年層に対する普及啓発】 [p5] 大学や専門学校の新入生向けのごみ出しルールに関するチラシを配布 | ・「リサイクルの見える化」や「リサイクル品の購入」についての啓発が必要 | | |
| リサイクル制度の周知 | 【ホームページ等による普及啓発】 [p6] 札幌市の公式ホームページや出前講座、ポスター掲出等、様々な媒体を利用してリサイクル制度を周知 | | | |
| 仕組みの整備 | 資源として活用可能な品目の回収 | 【小型家電リサイクルの実施】 [p7] 平成 25 年 10 月から、小型家電の無料回収を実施 | ・燃やせないごみに含まれる小型家電類は約 3,000 トン | 【北九州市】 小型金属の拠点回収 |
| | 多様な回収方法の整備 | 【地区リサイクルセンターの設置】 [p9] 様々な資源物を一度にまとめて持ち込むことができる回収拠点として、市内 4 箇所に地区リサイクルセンターを設置 【回収拠点の整備】 [p12] 商業施設や市有施設等、品目毎に回収拠点を設置 | ・地区リサイクルセンター利用者の向上 ・利用しやすい回収拠点の整備（高齢者対策） | 【京都市】 多様な資源ごみ回収システム 移動拠点回収 コミュニティ回収制度 |
| 市民・事業者が行う生ごみ堆肥化への取組支援 | | 【堆肥化器材等購入費助成】 [p17] コンポスターや密閉式容器、電動生ごみ処理機などの購入費の一部を助成 | ・家庭で作った堆肥の活用方法が限定的 ・マンション等の集合住宅に住む市民が堆肥化に取り組みづらい | 【川崎市】 生ごみリサイクル活動を行う市民団体への助成金の交付 【浜松市】 生ごみ堆肥化容器の無料配布 【福岡市】 生ごみ堆肥を使った菜園講座 |
| | | 【堆肥と野菜の交換】 [p19] 自家処理した生ごみ堆肥と野菜の交換による堆肥化の普及拡大 | | ※政令市以外の取組 【東京都足立区】 学校を拠点とした生ごみリサイクル |
| | | 【学校給食フードリサイクル事業】 [p19] 「学校給食フードリサイクル事業」の実施の支援 | | |
| 事業系 | 事業ごみの分別・資源化の促進 | 【事業系資源ごみ回収ボックスの設置費用の助成】 [p20] 複数の事業者が共同で古紙等の資源物をリサイクルするための「事業系資源ごみ回収ボックス」設置費用の助成 | ・事業ごみは横ばい傾向 ・事業ごみは生ごみと紙類がそれぞれ約 3 割占めている | 【さいたま市】 学校給食牛乳パックリサイクル 【京都市】 事業ごみの分別義務化 イベントのエコ化 【広島市】 施設への紙ごみ搬入規制 |
| | | 【商店街古紙回収事業】 [p21] 商店街としてまとめた量の古紙を回収する「商店街古紙回収事業」の実施 | | |
| | | 【小規模事業者への普及啓発】 [p21] 小規模事業者に対するごみ減量・分別・資源化の促進に向けた指導及び普及啓発 | | |
| | | 【チラシ・パンフレット等の作成】 [p22] 「オフィス・店舗向け事業ごみ分別・処理ガイドブック」や、事業ごみ資源化の取組等を伝える「ショリクマ通信」を作成し、事業所に配布 | | |
| | | 【見える化システム】 [p22] 「見える化システム」による事業ごみ減量・資源化の推進 | | |